

行政事業レビューシート (内閣府)						
予算事業名	中間書庫整備等経費		事業開始年度	平成19年度	作成責任者	
担当部局庁	大臣官房		担当課室	公文書管理課	福井仁史	
会計区分	一般会計		上位政策	公文書等の保存及び利用の取組		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	国立公文書館法第15条第2項 (関連) 公文書等の管理に関する法律第6条第2項、 公文書等の管理に関する法律附則による改 正後の国立公文書館法第11条第1項第2号及 び第3項第2号		関係する計 画、通知等	歴史資料として重要な公文書等の適切な保存のた めに必要な措置について(H13.3.30 閣議決定) 中間段階における集中管理及び電子媒体による管 理・移管・保存に関する報告書(H18.6.22 内閣官房 長官主宰「公文書等の適切な管理、保存及び利用に 関する懇談会」)		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	半現用文書で歴史公文書等として国立公文書館に移管される蓋然性が高いものについて、あらかじめ府省等の境を 越えて横断的に集中管理し、公文書等の散逸を防ぎ、保管環境を向上させ、早めに評価選別を行う「中間書庫システ ム」に必要な機能、設備、問題点等を把握・検証する。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	平成18年6月に、内閣官房長官が主宰する懇談会において、いわゆる中間書庫システムについて提言がなされた。こ の提言を踏まえ、平成19年11月から、中間書庫として適当な施設を借り上げ、内閣府及び内閣官房の行政文書の一部 を移送するとともに、文書の評価・選別等に当たる専門職員を雇用するなどのパイロット事業を実施し、中間書庫システ ムに必要な機能、設備、問題点等の把握・検証を行っている。					
実施状況	中間書庫として適当な民間の施設(文書保管庫及び事務室、約200㎡)を借り上げ、内閣府及び内閣官房の行政文 書の一部(約1,300ファイル、約4,400冊)を移送するとともに、文書の評価・選別等に当たる専門職員(2人)を雇用 し、中間書庫システムに必要な機能、設備、問題点等の把握・検証を行っている。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	13	31	32	30	0
	執行額	5	10	23		
	執行率	36.8%	30.8%	70.8%		
	総事業費(執行ベース)	5	10	23		
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	国の直接執行のため、書庫等の賃貸借料、文書運搬料、職員雇用経費等中間書庫の運営に必要な経費を、必要の 都度、直接支出している。				
	見直しの 余地	平成22年度中を目途にパイロット事業で得られた結果を検証することとしており、それに基づく知見を各府省及び国 立公文書館に提供することにより、今後、各府省が公文書等の集中管理を実施する上で、また、国立公文書館が各府 省の委託を受けて中間書庫を設置する上で、活用されることを期待しており、その中で見直していきたい。				
予算監視 の効率化	パイロット事業での検証結果を早期にまとめるとともに、民間借上げの書庫を今後も借り続ける必要性について精査すべき。					
補記	公文書管理の在り方等に関する有識者会議 最終報告(20.11.4) 4 公文書管理のあるべき姿に向けて (2) 文書管理サイクルを通じた横断的方策 ア 統一的管理の推進(中間書庫等) ○ 内閣府が行っている実証的パイロット事業を関係機関の協力を得て強力に推進し、中間書庫(集中書庫)の仕組みの活用 に向けて、その実証結果に基づく知見を逐次各府省に提供していく。 公文書等の管理に関する法律案に対する附帯決議 (21.6.10 衆議院) 行政文書の管理が適正に行われることを確保するため、一定の期間が経過した行政文書に関しその保存期間 満了前に一括して保管等の管理を行う制度(いわゆる中間書庫の制度)を各行政機関に導入することについて検討を行うこと。 (21.6.23 参議院) 行政文書の管理が適正に行われることを確保するため、作成から一定期間が経過した行政文書をその保存期 間満了前に一括して保管等の管理を行う制度(いわゆる中間書庫の制度)の各行政機関への導入について検討を行うこと。					

内閣府
23百万円

【事業の企画・立案・実施】

内閣府外部の民間
書庫の賃貸借等

【初年度:公募、次年度以降:随意契約】

A. (株).三井倉庫
15百万円

【書庫等の賃貸借経費
公文書の運搬、廃棄等経費】

【直接執行】

B. 個人(2人)
8百万円

【中間書庫に勤務する専門
職員の雇用経費】

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出さ
 れている者について記
 載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるよ
 うに記載)

A.(株)三井倉庫			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃貸借経費	書庫等の賃貸借	13			
その他	文書の運搬、廃棄等	2			
計		15	計		0
B.個人			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	専門職員(2人)の雇用経費	8			
計		8	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0